

# 江別市内における路線バス利用実態 停留所別利用者数

## データの出典

北海道中央バス・・・・・・・・・・ICカードデータ

ジェイ・アール北海道バス・・・・全利用者（ICカード含む）

夕張鉄道・・・・・・・・・・・・全利用者（バス乗降調査結果）

※平成28年10月27日のデータにて作成

※同一箇所・名称の停留所は、事業者を問わず、合計して表示

### ▼地域間の利用状況(抜粋)

(単位:人)

|       |       | 降車地区  |       |       |       |       |       |       |       |       |        |  |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--|
| 乗降人数  | 江別地区1 | 江別地区2 | 江別地区3 | 江別地区4 | 野幌地区1 | 野幌地区2 | 野幌地区3 | 大麻地区1 | 大麻地区2 | 札幌市   | 総計     |  |
| 江別地区1 | 15    | 80    |       | 32    | 17    | 1     |       | 8     |       | 29    | 182    |  |
| 江別地区2 | 61    | 97    | 63    | 69    | 10    | 221   | 11    | 33    | 25    | 114   | 704    |  |
| 江別地区3 |       | 61    | 5     | 1     |       | 95    | 5     |       | 24    | 143   | 334    |  |
| 江別地区4 | 24    | 102   |       | 1     | 27    | 40    |       | 9     | 1     | 19    | 223    |  |
| 野幌地区1 | 16    | 15    |       | 25    | 137   | 11    |       | 49    |       | 191   | 444    |  |
| 野幌地区2 |       | 203   | 105   | 38    | 22    | 144   | 110   | 154   | 161   | 406   | 1,343  |  |
| 野幌地区3 |       | 18    | 4     |       |       | 104   | 5     |       |       |       | 131    |  |
| 大麻地区1 | 8     | 38    |       | 7     | 45    | 133   |       | 151   | 10    | 1,316 | 1,708  |  |
| 大麻地区2 |       | 26    | 23    | 2     |       | 148   |       | 12    | 637   | 430   | 1,278  |  |
| 札幌市   | 29    | 126   | 129   | 18    | 169   | 415   |       | 1,337 | 400   | 1,869 | 4,492  |  |
| 総計    | 153   | 766   | 329   | 193   | 427   | 1,312 | 131   | 1,753 | 1,258 | 4,517 | 10,839 |  |

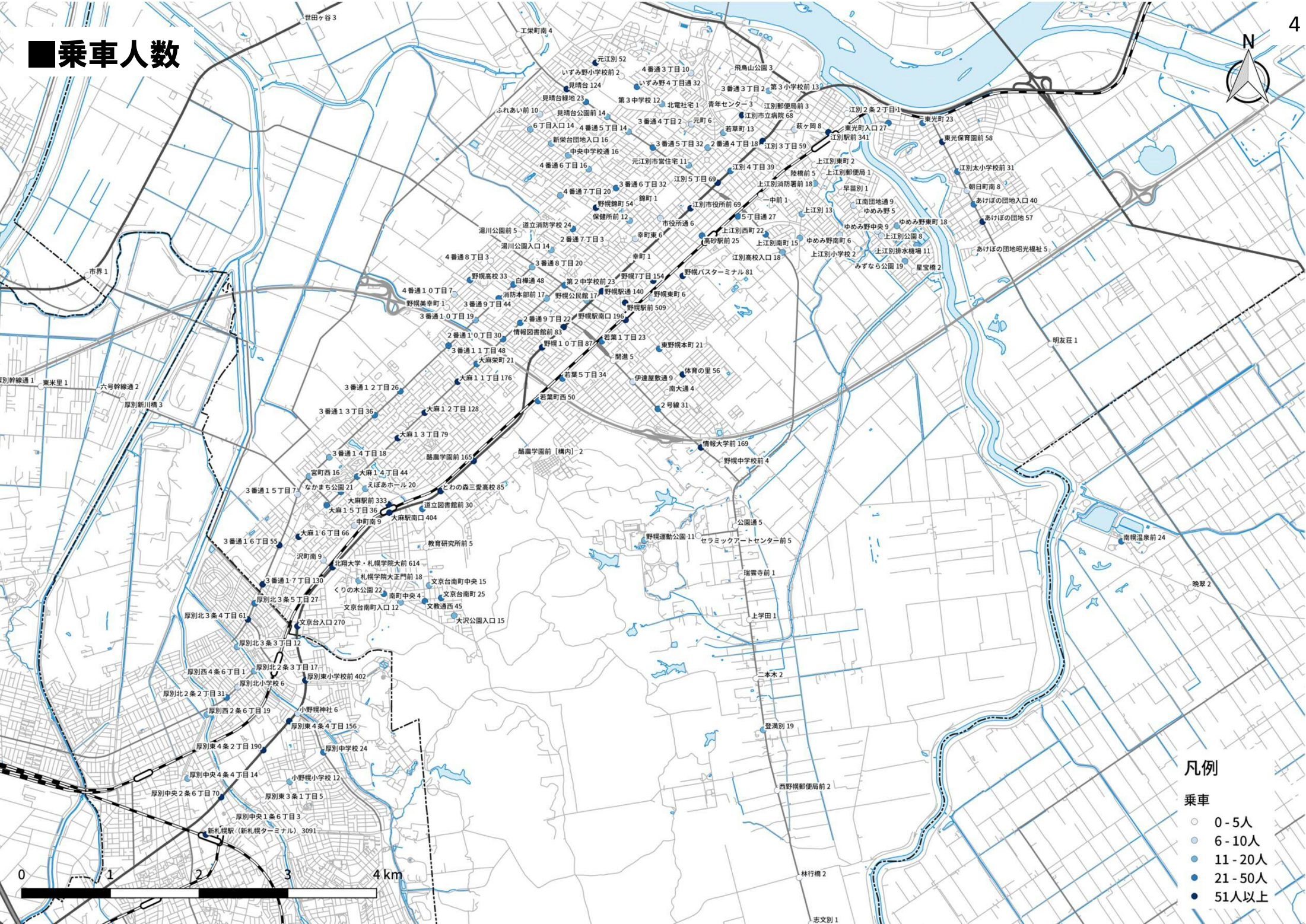
■ 1~10 ■ 11~100 ■ 101~500 ■ 500~

※上記の表は、アンケート調査にて分類した市内9地区と札幌市で整理しており、南幌方面や市内郊外部は割愛している。

※なお、大麻の100円バスの対象となる区間（大麻地区1内）の利用は、合計11名。

## 停留所別利用状況

# 乗車人数



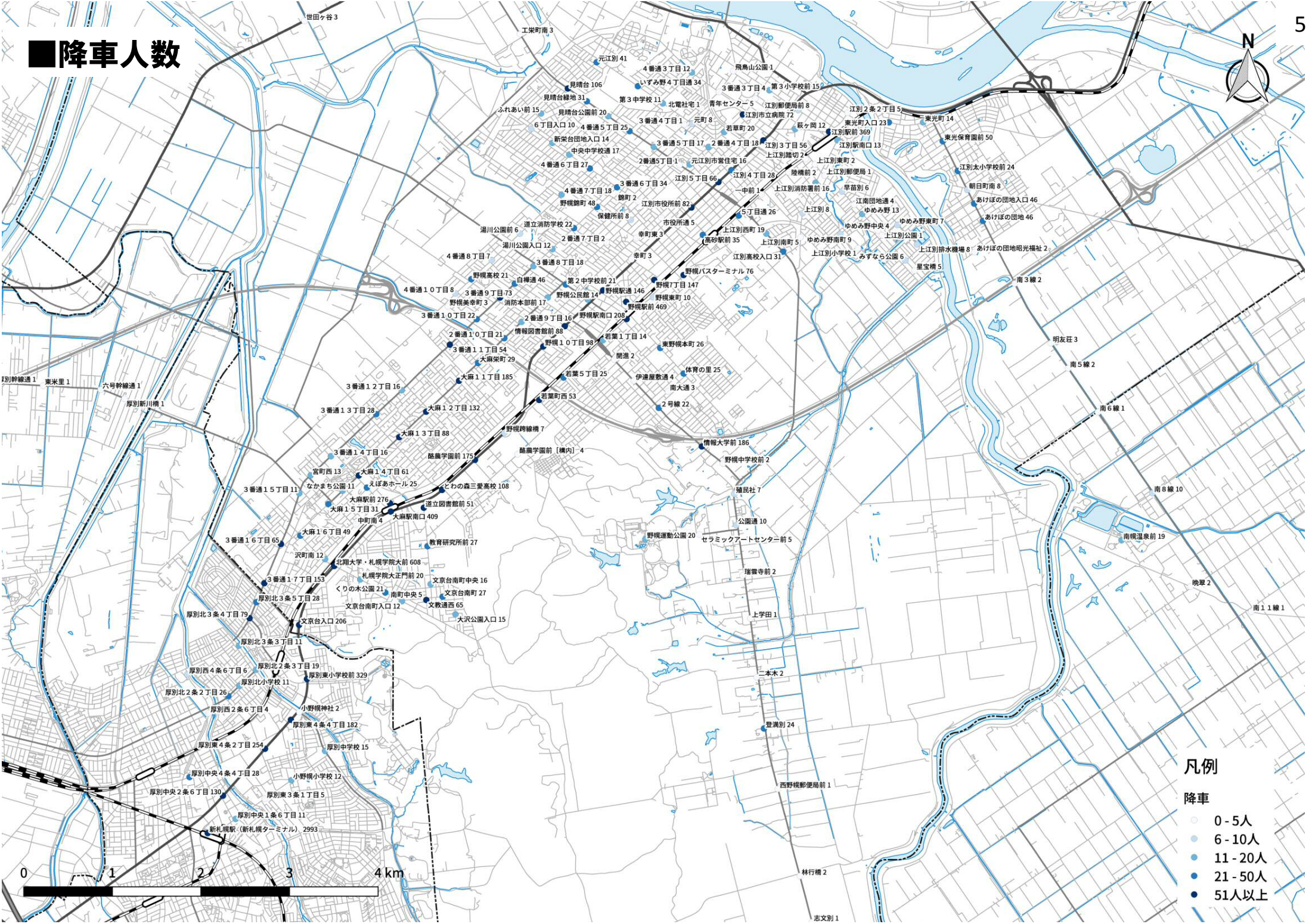
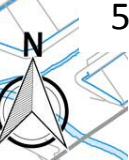
## 凡例

- 乗車
- 0-5人
- 6-10人
- 11-20人
- 21-50人
- 51人以上



志文別 1

# ■降車人数



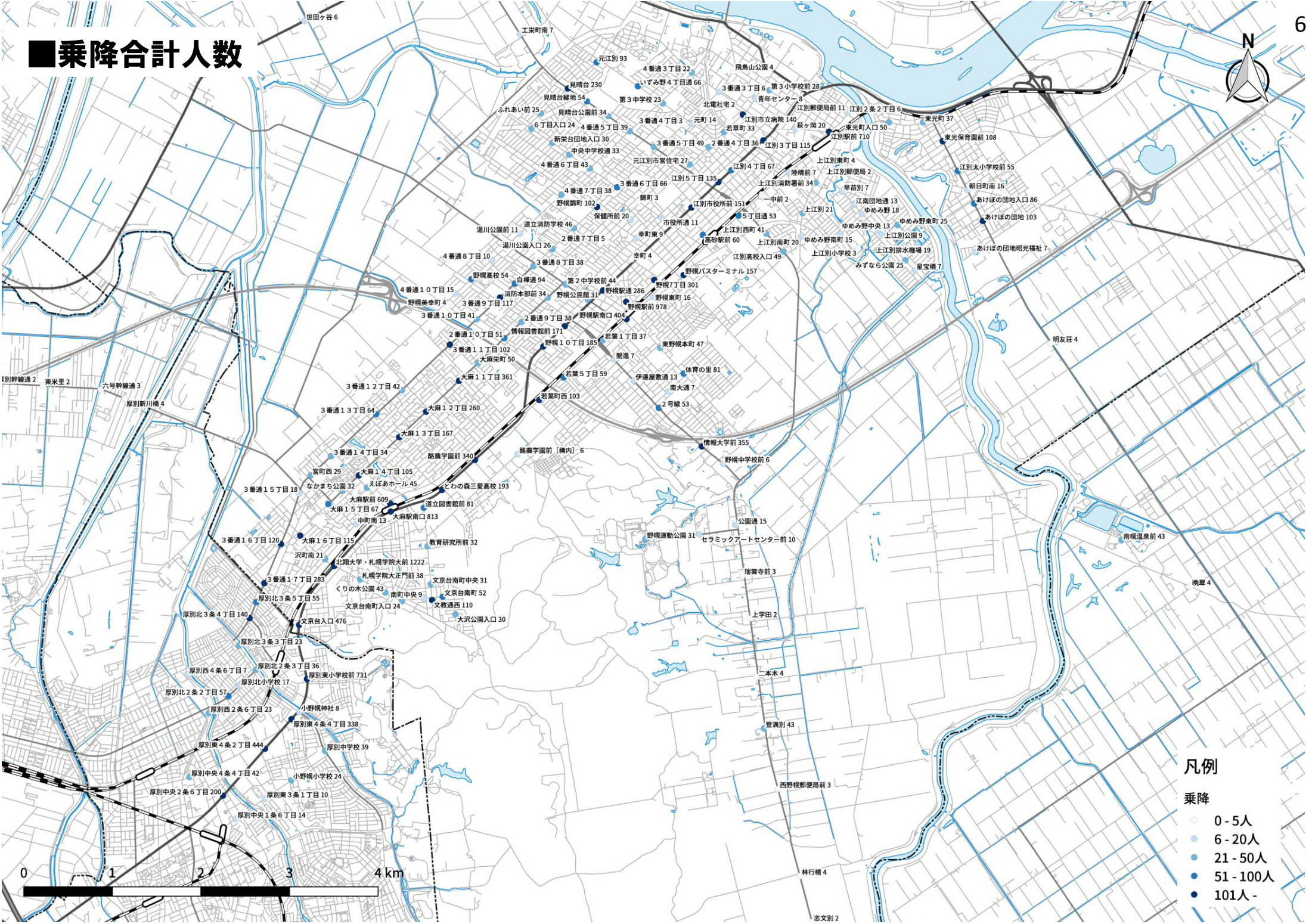
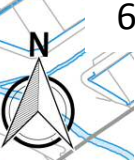
## 凡例

### 降車

- 0 - 5人
- 6 - 10人
- 11 - 20人
- 21 - 50人
- 51人以上



# 乗降合計人数



## 凡例

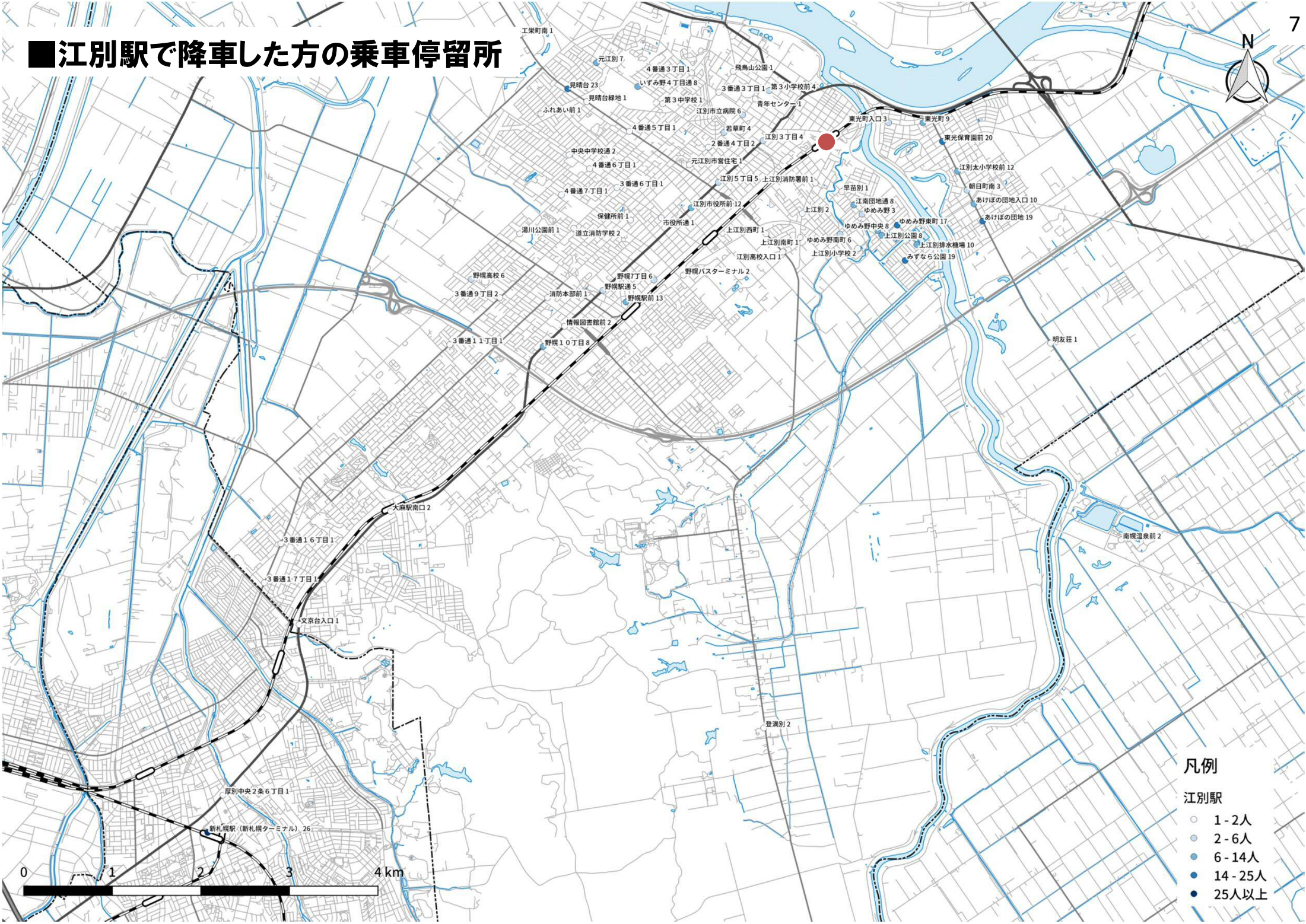
乗降

- 0 - 5人
- 6 - 20人
- 21 - 50人
- 51 - 100人
- 101人 -



志文別 2

# ■江別駅で降車した方の乗車停留所



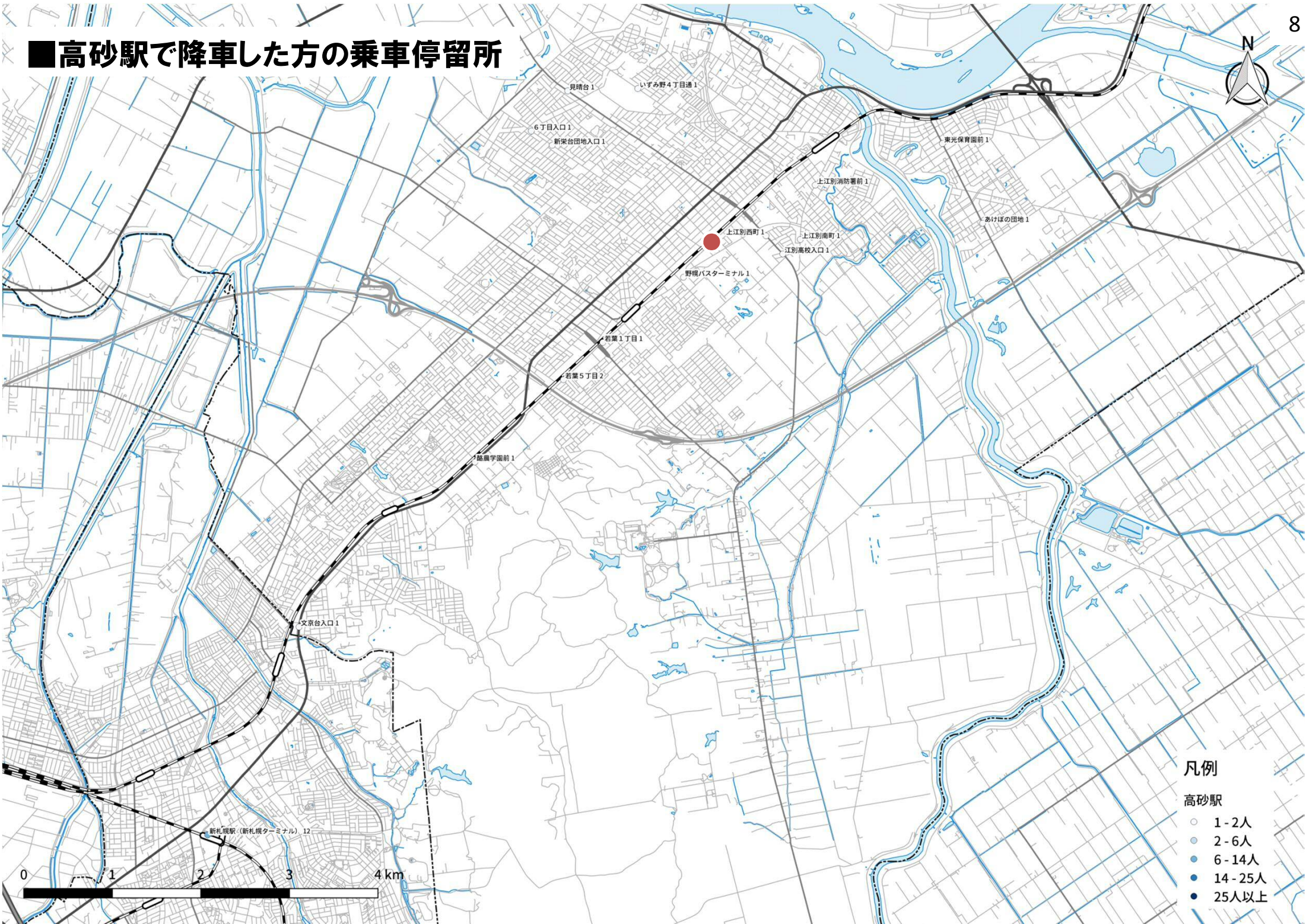
## 凡例

### 江別駅

- 1-2人
- 2-6人
- 6-14人
- 14-25人
- 25人以上



# ■高砂駅で降車した方の乗車停留所



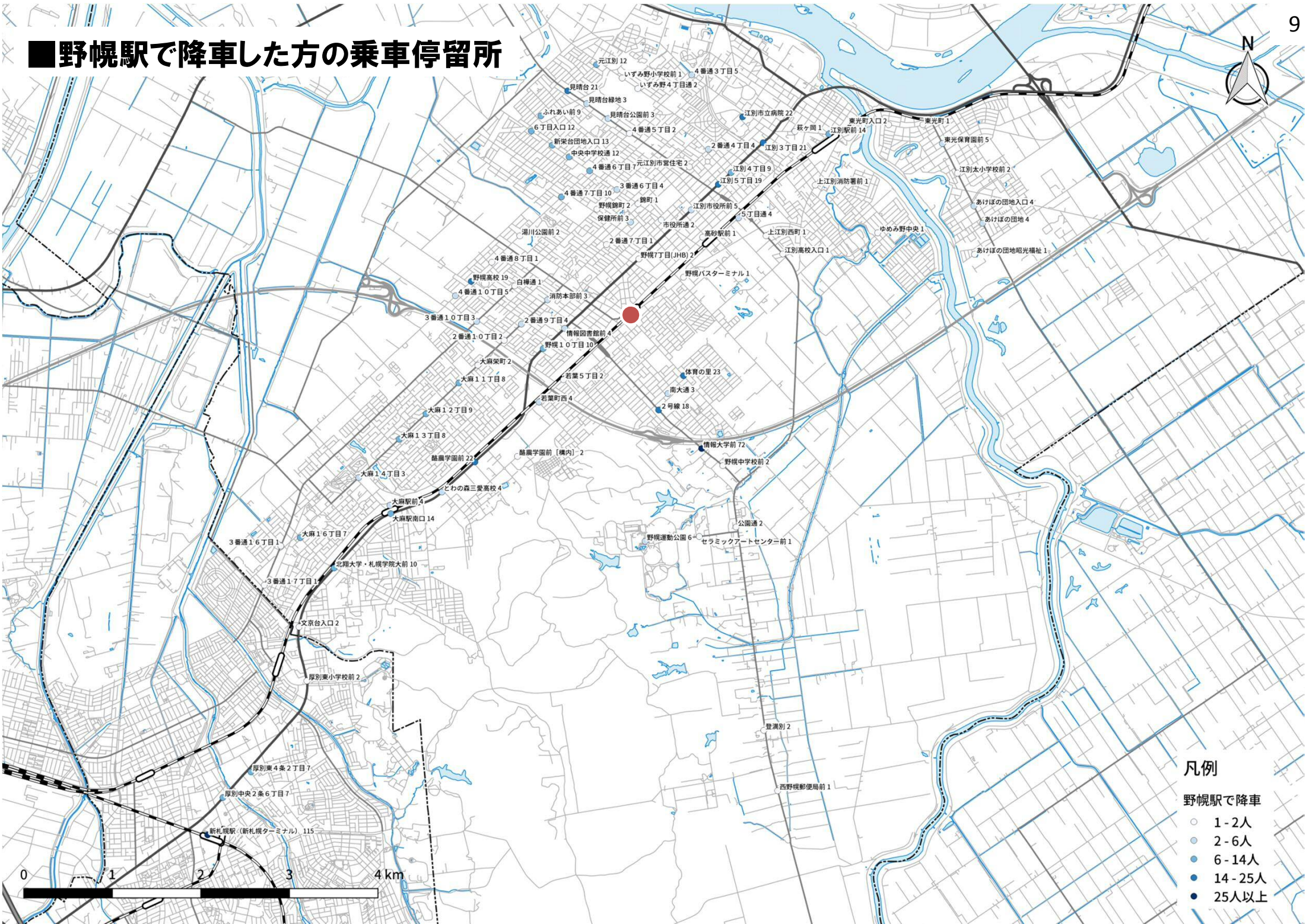
## 凡例

- 高砂駅
- 1-2人
  - 2-6人
  - 6-14人
  - 14-25人
  - 25人以上





# 野幌駅で降車した方の乗車停留所



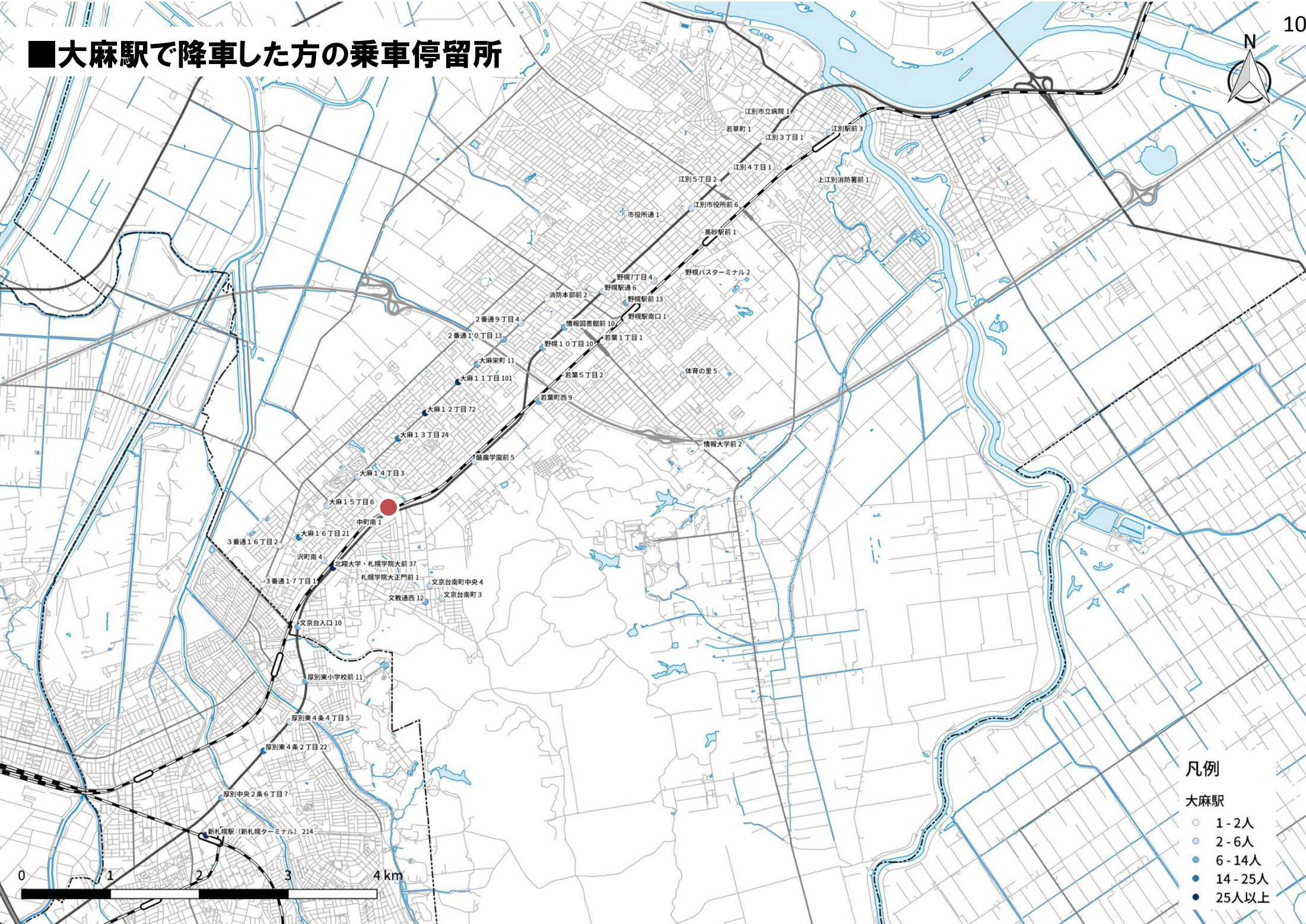
## 凡例

- 野幌駅で降車
- 1-2人
  - 2-6人
  - 6-14人
  - 14-25人
  - 25人以上





# ■大塚駅で降車した方の乗車停留所



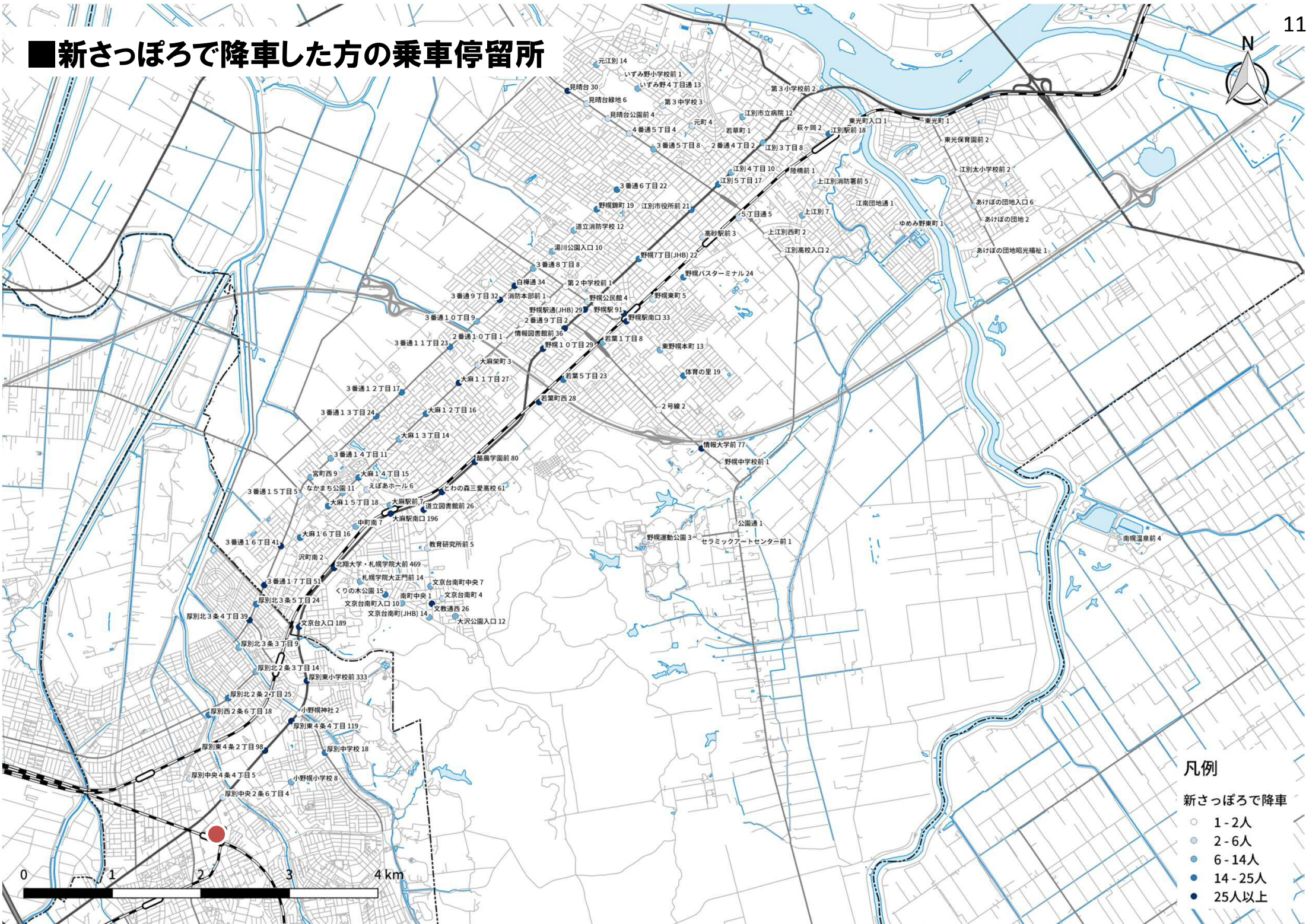
## 凡例

大塚駅

- 1-2人
- 2-6人
- 6-14人
- 14-25人
- 25人以上



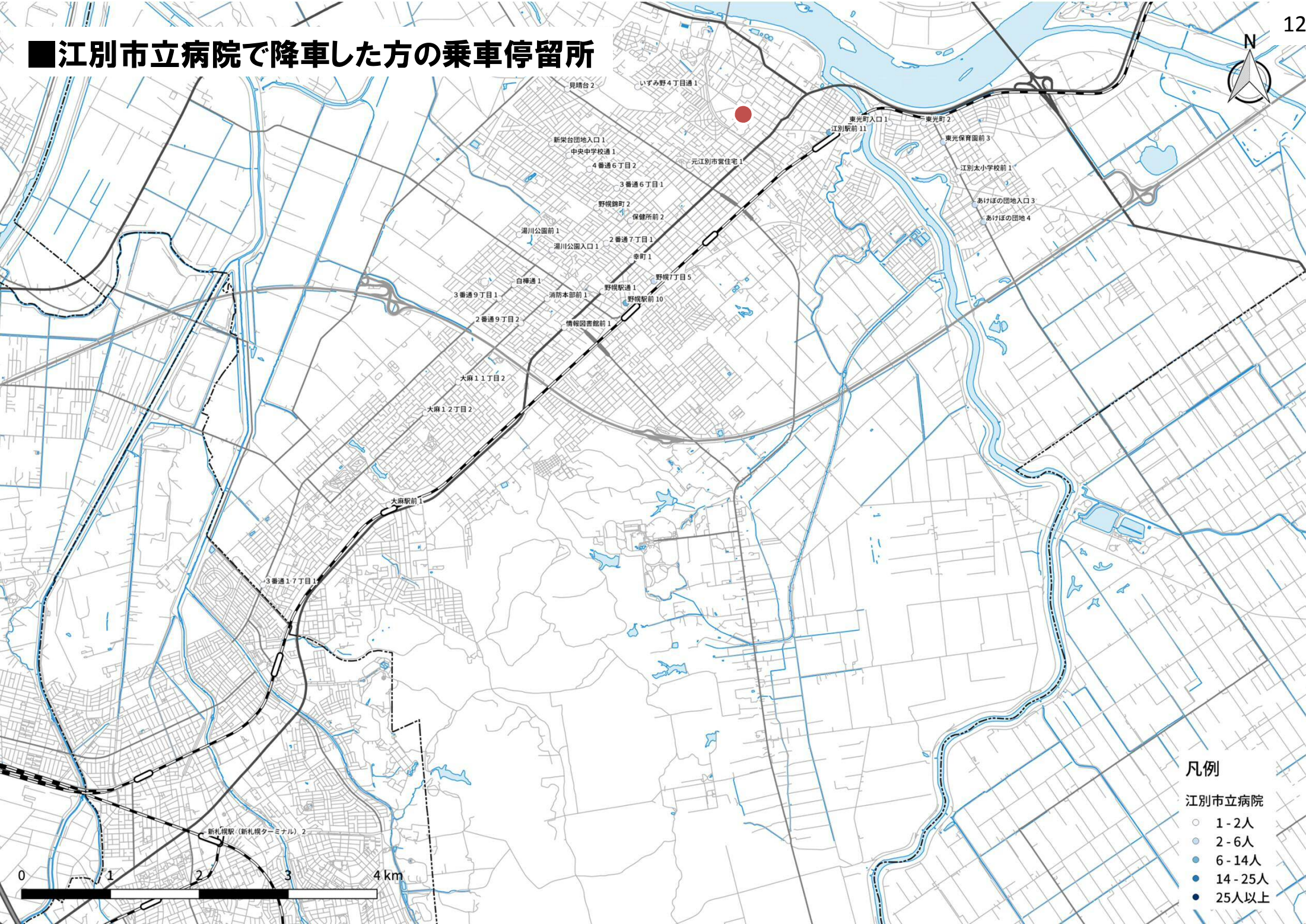
# ■新さっぽろで降車した方の乗車停留所



## 凡例

- 新さっぽろで降車
- 1-2人
  - 2-6人
  - 6-14人
  - 14-25人
  - 25人以上

# ■江別市立病院で降車した方の乗車停留所



## 凡例

江別市立病院

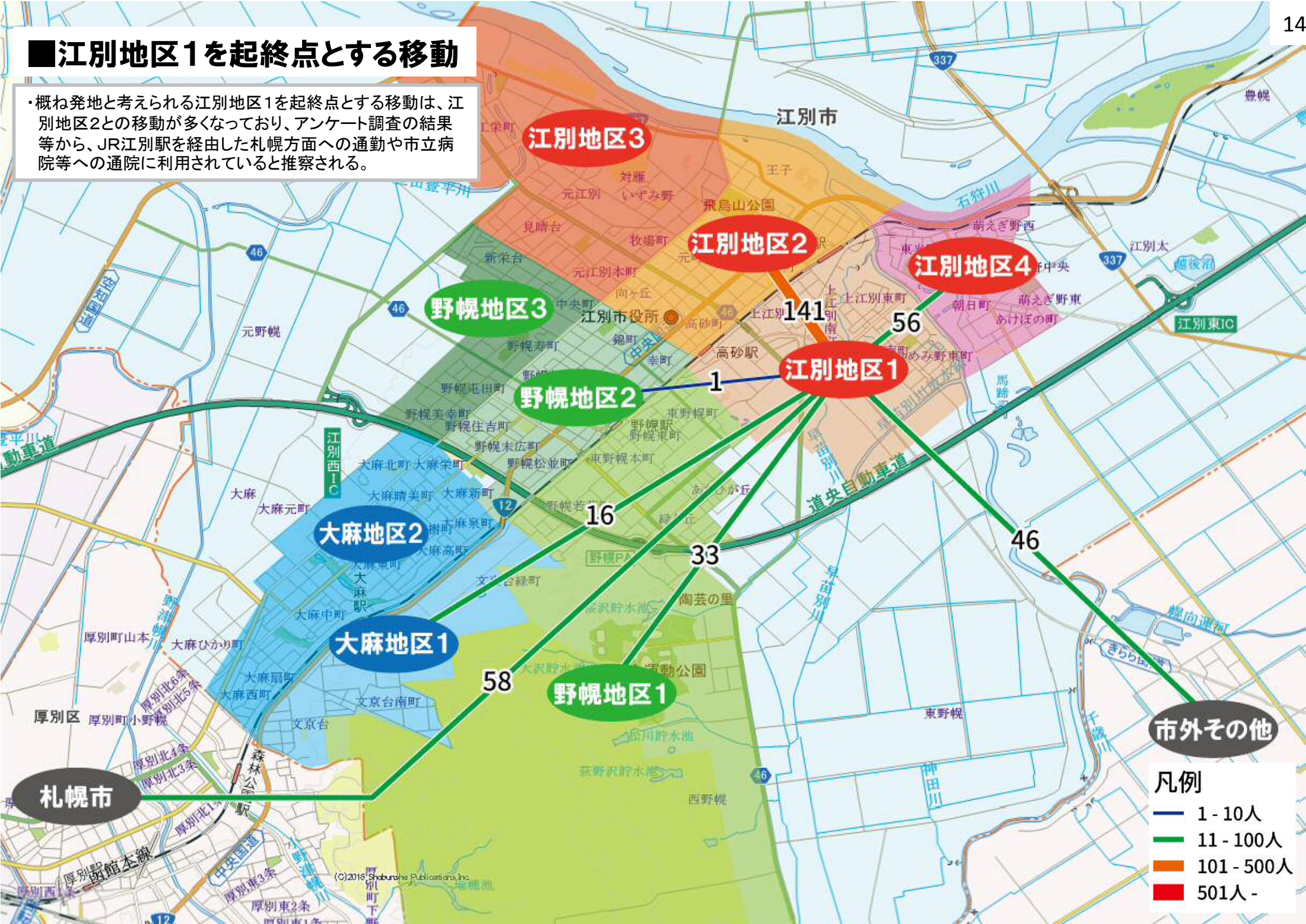
- 1-2人
- 2-6人
- 6-14人
- 14-25人
- 25人以上



## 地域間の利用状況

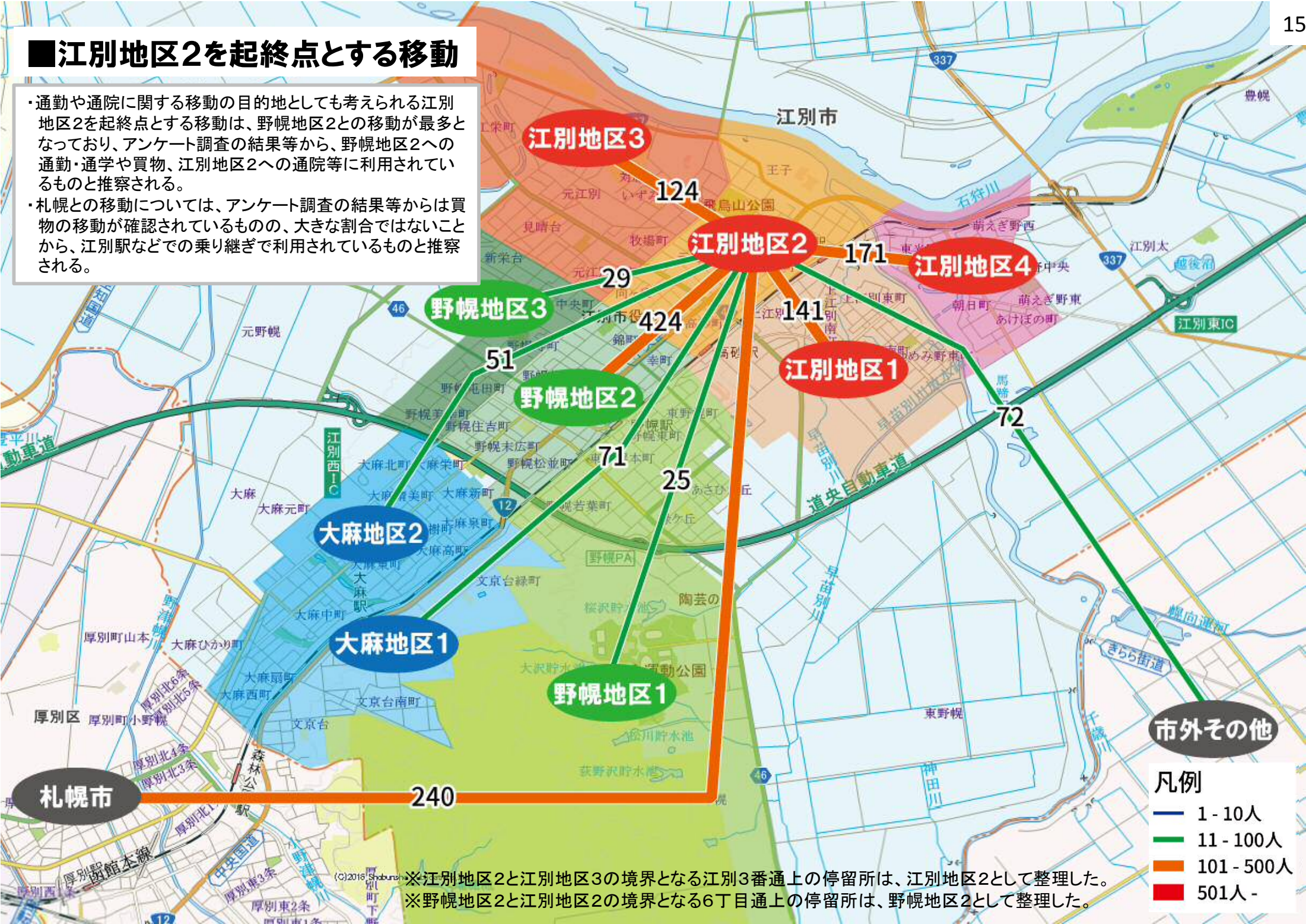
# ■江別地区1を起終点とする移動

・概ね発地と考えられる江別地区1を起終点とする移動は、江別地区2との移動が多くなっており、アンケート調査の結果等から、JR江別駅を経由した札幌方面への通勤や市立病院等への通院に利用されていると推察される。



# ■江別地区2を起終点とする移動

- ・通勤や通院に関する移動の目的地としても考えられる江別地区2を起終点とする移動は、野幌地区2との移動が最多となっており、アンケート調査の結果等から、野幌地区2への通勤・通学や買物、江別地区2への通院等に利用されているものと推察される。
- ・札幌との移動については、アンケート調査の結果等からは買物の移動が確認されているものの、大きな割合ではないことから、江別駅などでの乗り継ぎで利用されているものと推察される。



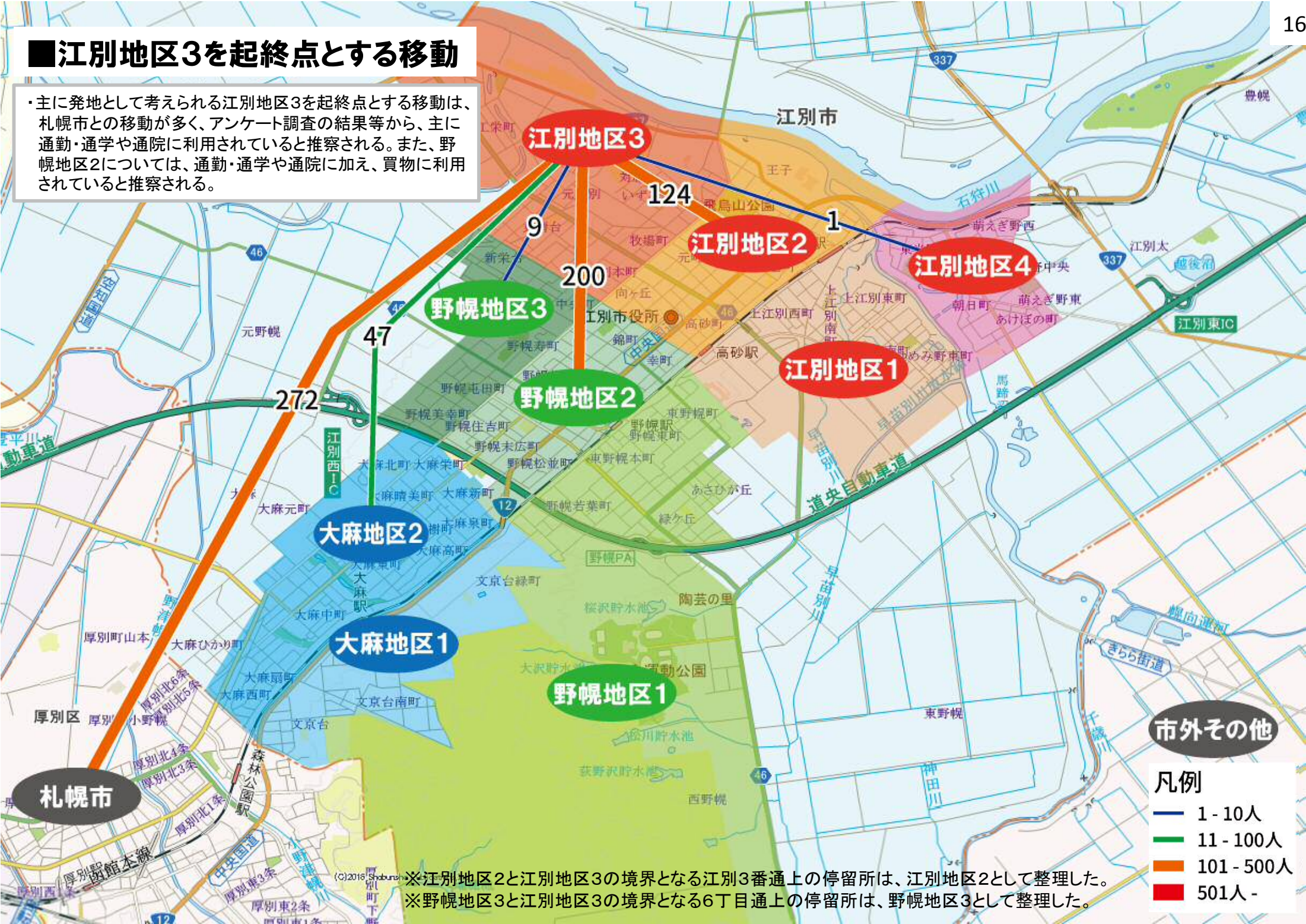
※江別地区2と江別地区3の境界となる江別3番通上の停留所は、江別地区2として整理した。  
 ※野幌地区2と江別地区2の境界となる6丁目通上の停留所は、野幌地区2として整理した。

凡例

|             |            |
|-------------|------------|
| Blue line   | 1 - 10人    |
| Green line  | 11 - 100人  |
| Orange line | 101 - 500人 |
| Red line    | 501人 -     |

# ■江別地区3を起終点とする移動

・主に発地として考えられる江別地区3を起終点とする移動は、札幌市との移動が多く、アンケート調査の結果等から、主に通勤・通学や通院に利用されていると推察される。また、野幌地区2については、通勤・通学や通院に加え、買物に利用されていると推察される。



市外その他

### 凡例

- 1 - 10人
- 11 - 100人
- 101 - 500人
- 501人 -

※江別地区2と江別地区3の境界となる江別3番通上の停留所は、江別地区2として整理した。  
 ※野幌地区3と江別地区3の境界となる6丁目通上の停留所は、野幌地区3として整理した。

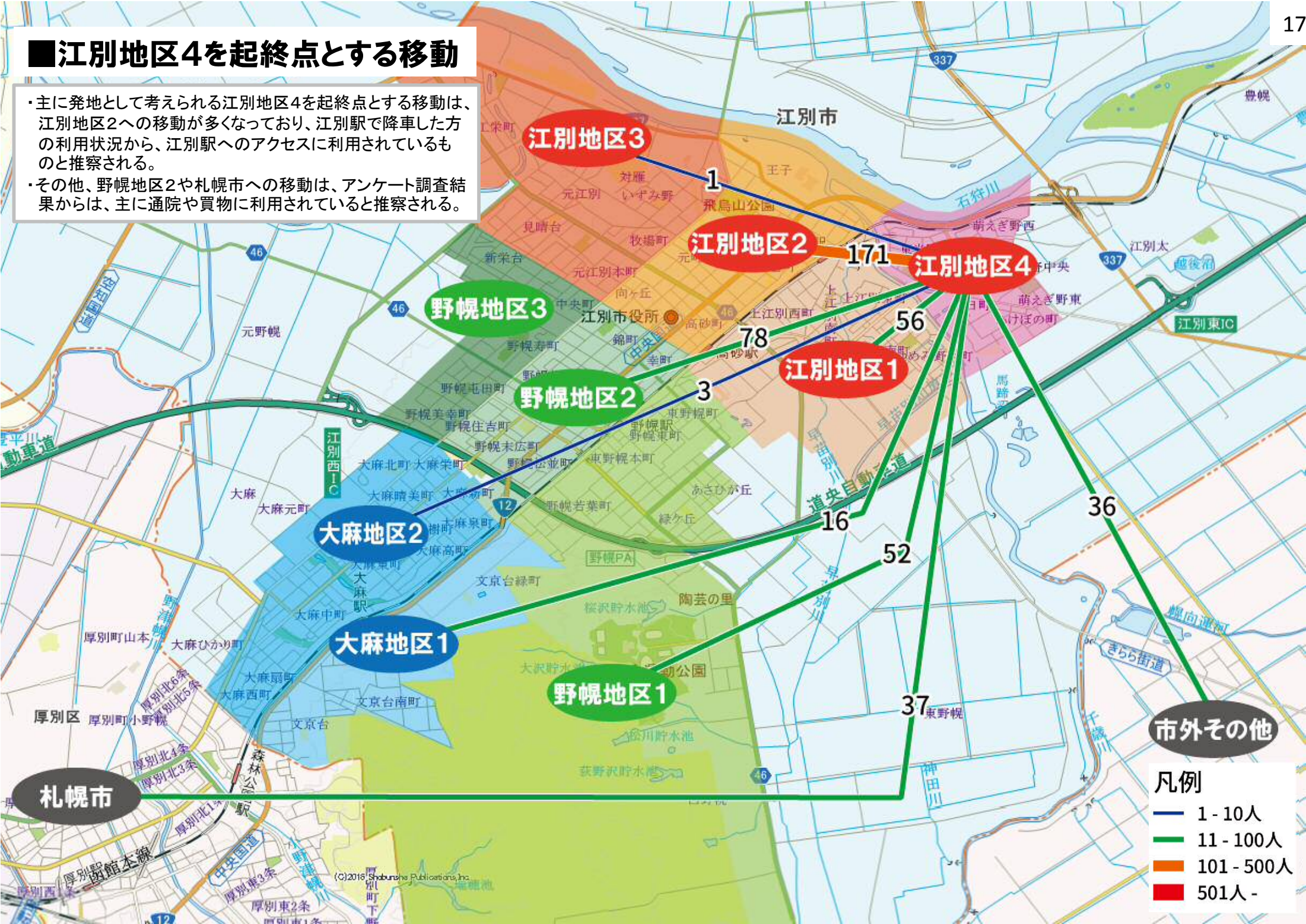
札幌市

厚別区



# ■江別地区4を起終点とする移動

- ・主に発地として考えられる江別地区4を起終点とする移動は、江別地区2への移動が多くなっており、江別駅で降車した方の利用状況から、江別駅へのアクセスに利用されているものと推察される。
- ・その他、野幌地区2や札幌市への移動は、アンケート調査結果からは、主に通院や買物に利用されていると推察される。



市外その他

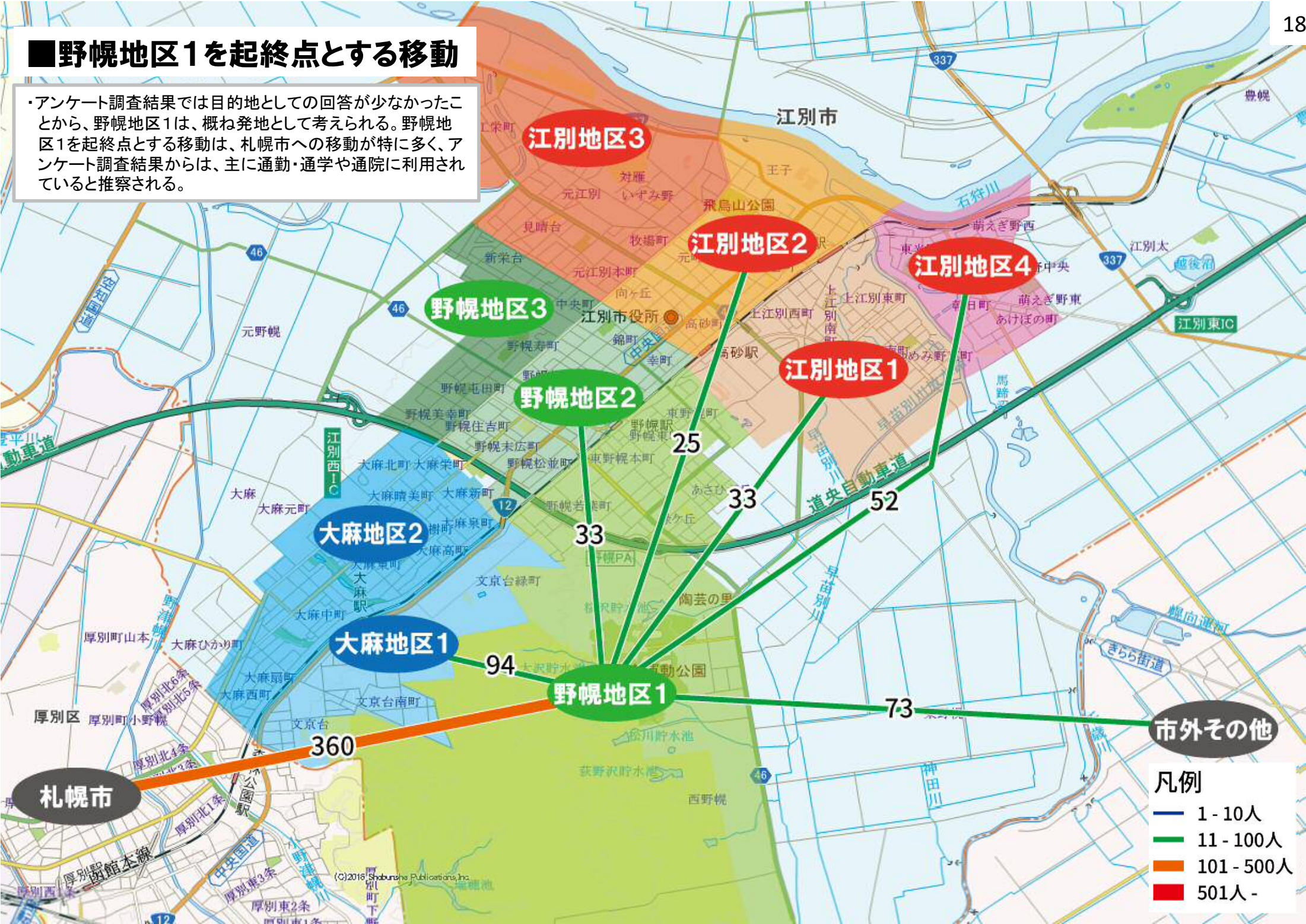
凡例

- 1 - 10人
- 11 - 100人
- 101 - 500人
- 501人 -

札幌市

# 野幌地区1を起終点とする移動

・アンケート調査結果では目的地としての回答が少なかったことから、野幌地区1は、概ね発地として考えられる。野幌地区1を起終点とする移動は、札幌市への移動が特に多く、アンケート調査結果からは、主に通勤・通学や通院に利用されていると推察される。

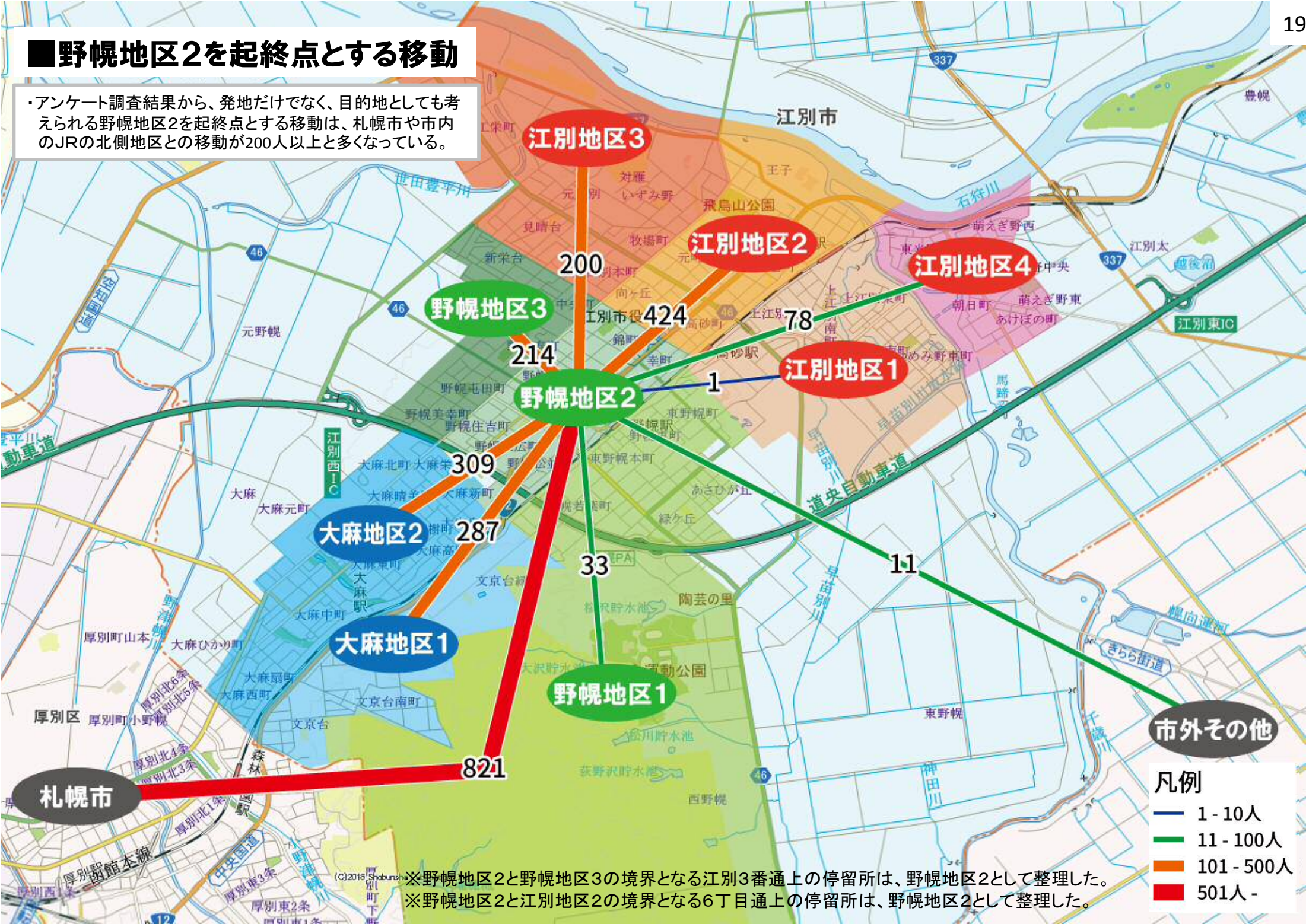


**凡例**

- 1 - 10人
- 11 - 100人
- 101 - 500人
- 501人 -

# ■野幌地区2を起終点とする移動

・アンケート調査結果から、発地だけでなく、目的地としても考えられる野幌地区2を起終点とする移動は、札幌市や市内のJRの北側地区との移動が200人以上と多くなっている。

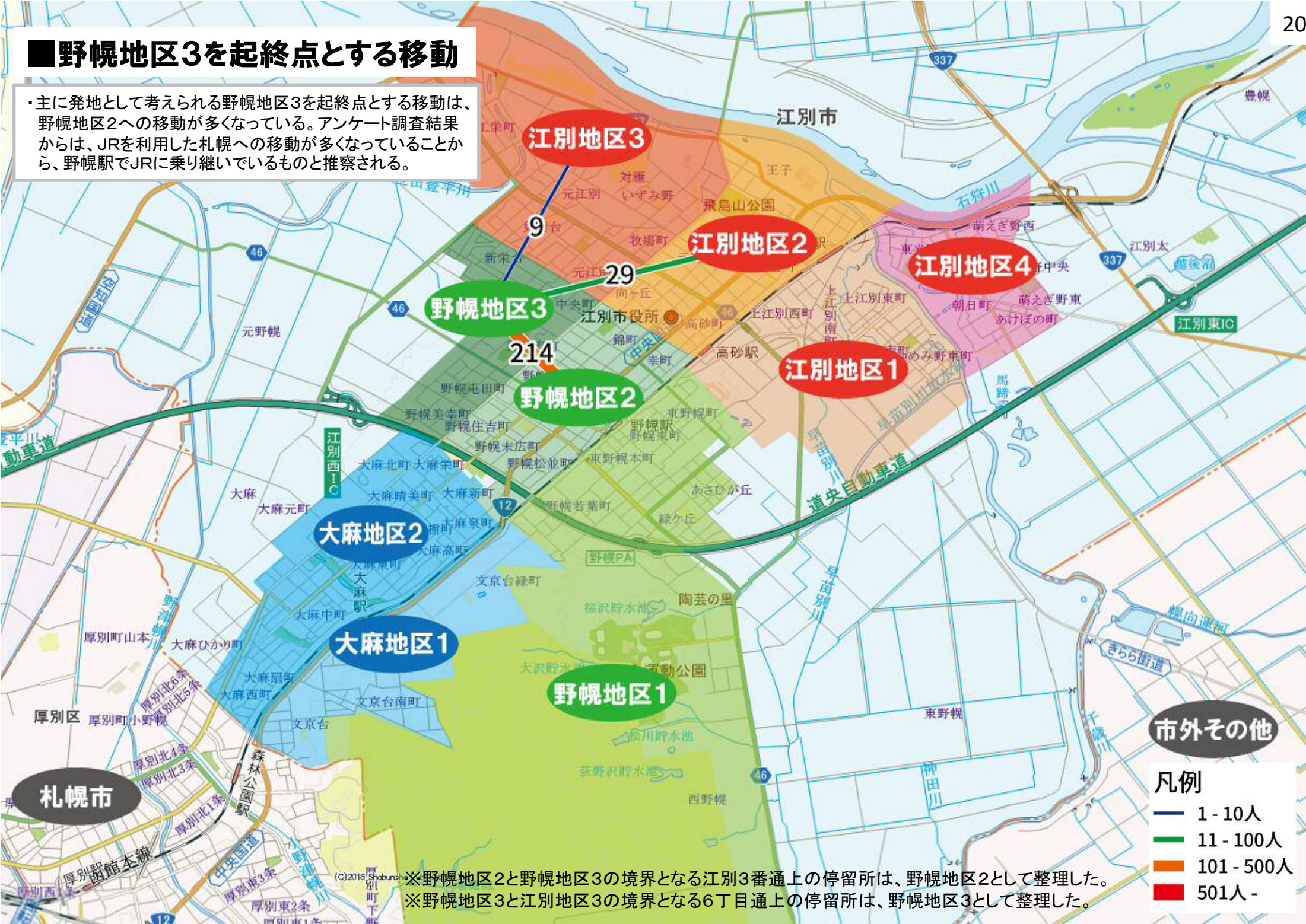


※野幌地区2と野幌地区3の境界となる江別3番通上の停留所は、野幌地区2として整理した。  
 ※野幌地区2と江別地区2の境界となる6丁目通上の停留所は、野幌地区2として整理した。

凡例  
 1 - 10人  
 11 - 100人  
 101 - 500人  
 501人 -

# ■野幌地区3を起終点とする移動

・主に発地として考えられる野幌地区3を起終点とする移動は、野幌地区2への移動が多くなっている。アンケート調査結果からは、JRを利用した札幌への移動が多くなっていることから、野幌駅でJRに乗り継いでいるものと推察される。



※野幌地区2と野幌地区3の境界となる江別3番通上の停留所は、野幌地区2として整理した。  
 ※野幌地区3と江別地区3の境界となる6丁目通上の停留所は、野幌地区3として整理した。

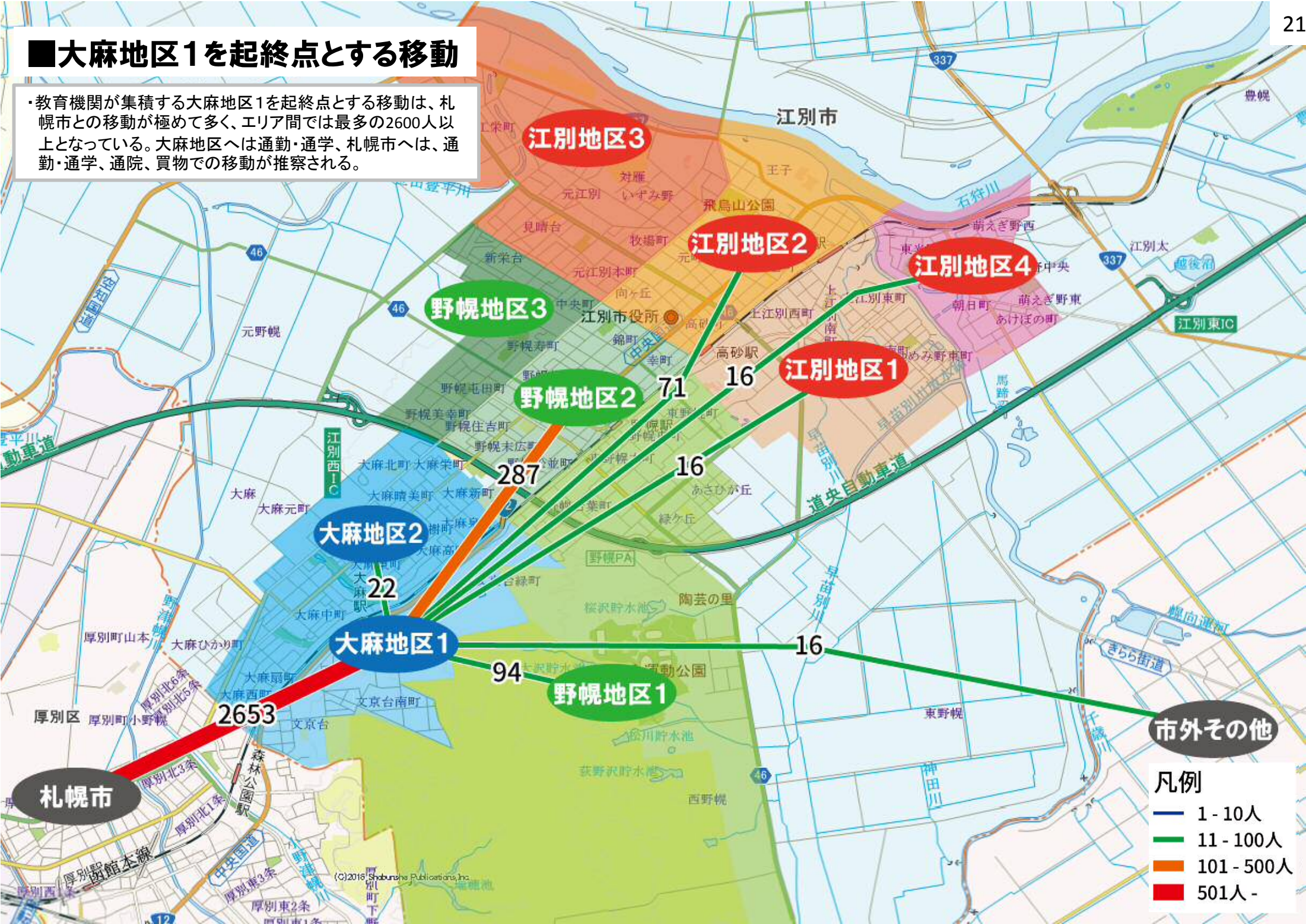
**市外その他**

**凡例**

- 1 - 10人
- 11 - 100人
- 101 - 500人
- 501人 -

# ■大麻地区1を起終点とする移動

・教育機関が集積する大麻地区1を起終点とする移動は、札幌市との移動が極めて多く、エリア間では最多の2600人以上となっている。大麻地区へは通勤・通学、札幌市へは、通勤・通学、通院、買物での移動が推察される。



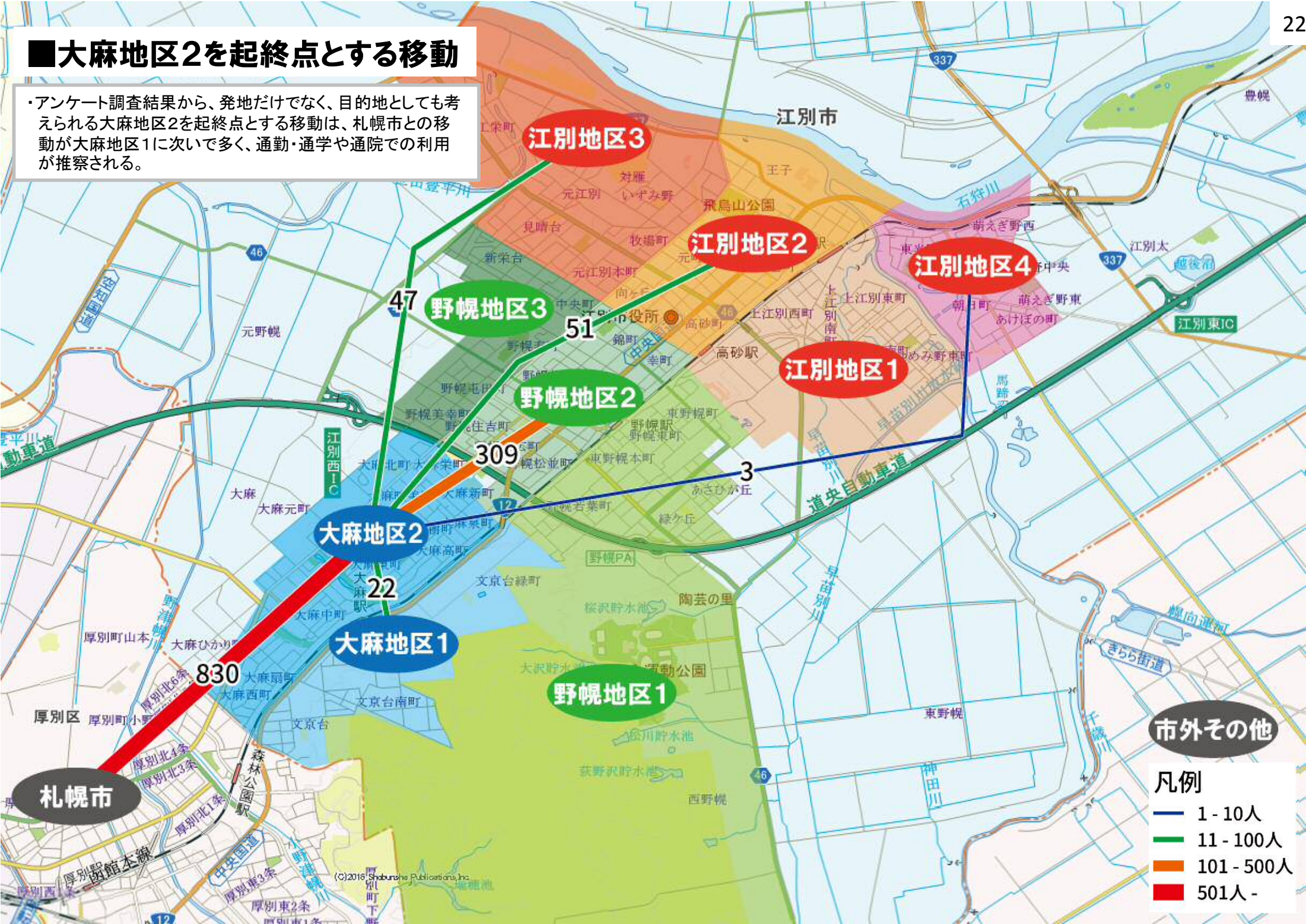
凡例

- 1 - 10人
- 11 - 100人
- 101 - 500人
- 501人 -

(C)2018 Shabunsha Publications, Inc.

# ■大麻地区2を起終点とする移動

・アンケート調査結果から、発地だけでなく、目的地としても考えられる大麻地区2を起終点とする移動は、札幌市との移動が大麻地区1に次いで多く、通勤・通学や通院での利用が推察される。



市外その他

凡例

- 1 - 10人
- 11 - 100人
- 101 - 500人
- 501人 -

札幌市